

とよつだより

第18号

平成21年12月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

充実の秋 豊津のイベント 報告します

頑張りました 第四回とよつふれあい運動会

『手をつなぎ 大きくしよう 地域の輪』をスロガンに、会場を豊津小学校グラウンドに戻して、今年も地域の一大イベント「ふれあい運動会」が行われました。

十月三日の予定でしたが、荒天が予想されることから、前日に順延を決定。翌四日は素晴らしい好天に恵まれて、約六〇〇人(主催者発表)の参加で白熱した競技が繰り広げられ、とても熱い(暑い?)一日でした。

小学生の競技では、新しい種目も加わり、小さいアスリート達の活躍に会場は盛り上がり、また、地区の競技では、地区対抗種目はもちろんのこと、プログラム毎に参加者も観戦者も楽しんでいました。観戦席では、「あれは、どこの人だよ」とか、「〇〇さんは、まだ若いな」などの会話もあり、地域の輪がさらに深まったようです。



かごに(青空に?) むかってエイッ



個人の力、そして豊津の団結力を再確認



さて、肝心の結果ですが、今年の地区対抗優勝は大船津第二区でした。これでナント四年連続の優勝を飾りました。閉会式での講評で、飯島まちづくり委員長が「大船津第二区には、3つのVの方程式がある」とコメントしていました。各地区でも、「打倒!大船津第二区」をキャッチフレーズによく工作戦を練って、来年の優勝を目指して頑張ってください。

最後になりましたが、準備そして後片付けとご協力いただいた実行委員の皆さん、そして参加された皆さん、お疲れ様でした。



今年も鹿島ハイツを会場に、九月十三日、『鹿嶋市(豊津地区)敬老会』が開かれました。

今年の豊津地区の敬老者は二九〇名(男性一二〇名・女性一七〇名)を数え、新敬老者(昭和十三年度生まれの方)は二十五名いました。

また、米寿(八十八歳)が四名、喜寿(七十七歳)が十二名で、最高齢者は九十四歳の太川えいさん(新田)でした。

第二部では小学生や実行委員などによる歌や踊りの披露もあり、楽しい一時を過ごしました。

お若く、お元気な皆さん、これからも文化の継承役として、そして現役の実践家として、豊津地区のために活躍いただきたいと思ひます。

(参考) 鹿嶋市データ

- ・ 敬老者 八八〇七名
- ・ 一〇〇歳以上 十九名
- ・ 最高齢 一〇四歳



参加された 新敬老者の皆さん

賑やかに、楽しく敬老会を開催



十一月八日 秋晴れの日にとよつまつりが開催されました。昨年同様、暖かい日和に恵まれ、芸能発表では子ども達のグループ「サファリ」がヒップホップダンスを披露したり、恒例である「ちようちん祭り」は六一会とちようちんの協力で行われ、もちようちんも賑やかに行われました。カラオケ大会では、ニューフェースが唄と踊りを女性より優雅に披露してくれました。



男の料理教室研修視察 西金砂神社にて集合写真

十一月十五日 男の料理教室で金砂郷のそば祭りに参加しました。そば打ちは何回も行っていますが、会員での視察は初めてのため和気あいあい、本格的なそば打ち体験イベント見学や神社の見学を行いました。



とよつかるためぐりシリーズ③

秋祭り

穀物の神を祀り、地域の守護神とされた稲荷神社は、大船津第一区の出口町と大船津第三区の新田町（四ッ谷）の森の稲荷と大船津には二ヶ所あります。今回紹介する出口町の稲荷神社は、宇賀魂命（ウガノミタマノミコト）を祀り一八六八年九月に再興されました。地域の人たちは「鎮守様」と呼んでいます。大船津通りの住宅の密集したところにあり、見過ごしてしまいそうな場所にあります。正面の鳥居前には常夜塔が二基、その先には使わしめのキツネがお出迎えしてくれます。本殿は小さいのですが、上屋の立派な神社です。



お祭りは、二月の初午と十月二十二日に行われます。今年の十月の祭りは、雲一つない秋晴れの中で行われました。和やかな雰囲気の中、出口町の人たちがのぼりを立て、田町の人たちが稲ワラを持ち寄ってしめ縄掛けなど準備が進められていました。境内には、祭りの手伝いの人たちの笑顔や笑い声があふれていました。七十代の男性は「昔、ここで土俵を作って相撲大会があった」と懐かしそうに話してくれました。そうこうしているうちに祭りの支度が整い、本殿前で神宮から禰宜様をお迎えして祭りが執り行なわれました。



現在は、毎月一日と十五日に「文化を守る会」の方達が本殿で太鼓や念仏でお祈りしてくれます。祭りを通じて、地域の人たちの大船津の鎮守様を大切に思う気持ちの絆を感じました。

編集後記（ある主事のひとりごと）

九月二十九日、ひたちなか市の中央公民館など公民館関係者、二十数名が、視察研修のため豊津まちづくりセンターに来館されました。豊津地区まちづくり委員会の、「協働のまちづくり」に視点をおいた活動など、プロジェクトに映し出しながらの事業報告を熱心に聴いてくださいました。質疑応答では、「協働のまちづくり」事業を進めていくなかでの「豊津地域の皆様」の多大な貢献に感心されておりました。あっ！という間の一年でしたが、改めて地域の方々に感謝の念を抱いた一年でした。ありがとうございました。いよいよ来年は還暦の私。赤いちゃんこを考える年になってしまいました。正絹は無理かな……。来年もよろしくお願い致します。